

健診検査センターニュース

No.540 号

運営委員会より

9月17日（木）平成 27 年度第6回の運営委員会を開催いたしました。

冒頭、本間所長より挨拶がありました。

1. 特定健診8月の実施件数は、下記のとおりでした。

	8月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 8月現在 7.51% / 目 標 30.0% 達成率：25.0%
函館市国保	1,039 人（23 人 102.3%）	4,086 人（115 人 102.9%）	
後期高齢者	578 人（88 人 118.0%）	2,181 人（122 人 105.9%）	
その他	168 人（12 人 107.7%）	775 人（49 人 106.7%）	
合 計	1,785 人（123 人 107.4%）	7,042 人（286 人 104.2%）	

実施機関：92 施設／登録機関 105

○ 8月の受診者数は、1,785 人と前年に比べ 123 人の増加となりました。

2. 27 年8月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	8月（前年同月比）	27 年度累計（前年比）
一般検査収入	103.1 %	103.7 %
健診収入	130.6 %	106.5 %
合 計	114.9 %	104.9 %

3. その他

嘱託職員 1 名の再雇用更新の報告がありました。

《 ちょっと一言 》

医師会健診検査センター運営委員広報担当の小葉松です。好天のシルバーウィークも終わり、食べ物が美味しい季節ですね。ただし食欲に任せて満腹を繰り返していると、病魔が忍び寄ってくることは皆さんもよ〜くご存知ですよ。

当院は婦人科ですから患者さんは女性ばかりですが、やはり特定健診年齢の40歳以上になると、中性脂肪、LDL コレステロール、血糖値がじわりじわりと上がってくる方が多くなります。コレステロールや血糖値が少しだけ高い患者さんに、皆さんはどのような指導をされていますか？特定健診の基準値は、病気を予防するのが目的ですから、かなりきつい数値が設定されています。患者さんに、「データがほんの少し高い時期に食事や運動をちょっと見直すと、薬を飲まなくても正常値を維持できるんだから、ここで頑張りましょう。」と力説すると「内科の先生から、特定健診は基準が厳しいので、まだ薬を飲むほどではないから気にしなくていい、と言われたので（生活改善は）必要ないです。」と言われることが少なくありません。これって本末転倒じゃん！と私は憤り、今年の春から、たったの月2回ですが、管理栄養士に来てもらい、集団と個別の栄養指導を始めました。「私は頑張っています。」という患者さんも、自己流ですから、意外とわかっていない人が多い。はっきり言って「自分はわかっています。」という人ほどわかっていない傾向が強い印象です。極度の肥満の人に至っては、本当に美味しいものを食べていないので、多量に摂取しないと満足度が上がらないのでは？と考えます。アメリカ人とフランス人の平均的体型と食事内容を比較すれば納得ですよ。

脂質異常や2型糖尿病は明らかに生活習慣の改善で予防可能です。どうぞ皆さんは「まだ薬飲むほどじゃないから気にしなくていい。」という指導だけはなさないでくださいね。

（文責 小葉松洋子）

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
 この度、尿沈渣の結果記載法におきまして、日本臨床検査標準協議会（JCCLS）の指針に基づいた標準法へ変更させて頂きます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成27年10月13日（火）受付分より変更

変更項目：5100 尿沈渣

・非上皮細胞類（赤血球・白血球）の報告書結果記載法の変更

	(新)	(旧)
程 度	0-1 1-4 5-9 10-19 20-29 30-49 50-99 100≦	0-1/F 2-5/F 1-5/E 6-10/E 11-20/E 21-50/E ΔΔ/E ΔΔ/E (F:数視野, E:毎視野)
単 位	/HPF (high power field=400倍視野)	/×400
基 準 値	赤血球・白血球 0~4個/HPF	赤血球・白血球 2~5数視野以下

・上皮細胞類（扁平上皮細胞など）の報告書結果記載法の変更

	(新)	(旧)
程 度	0-1 1-4 5-9 10-19 20-29 30-49 50-99 100≦	(1+) (2+) (3+)
単 位	/HPF (high power field=400倍視野)	

・上皮細胞名称の変更

	(新)	(旧)
上皮細胞名称	尿路上皮細胞	移行上皮細胞

備考

非上皮細胞類・上皮細胞類の出現の程度及び単位、基準値を変更させていただきます。また、移行上皮細胞は尿路上皮細胞と名称変更させていただきます。

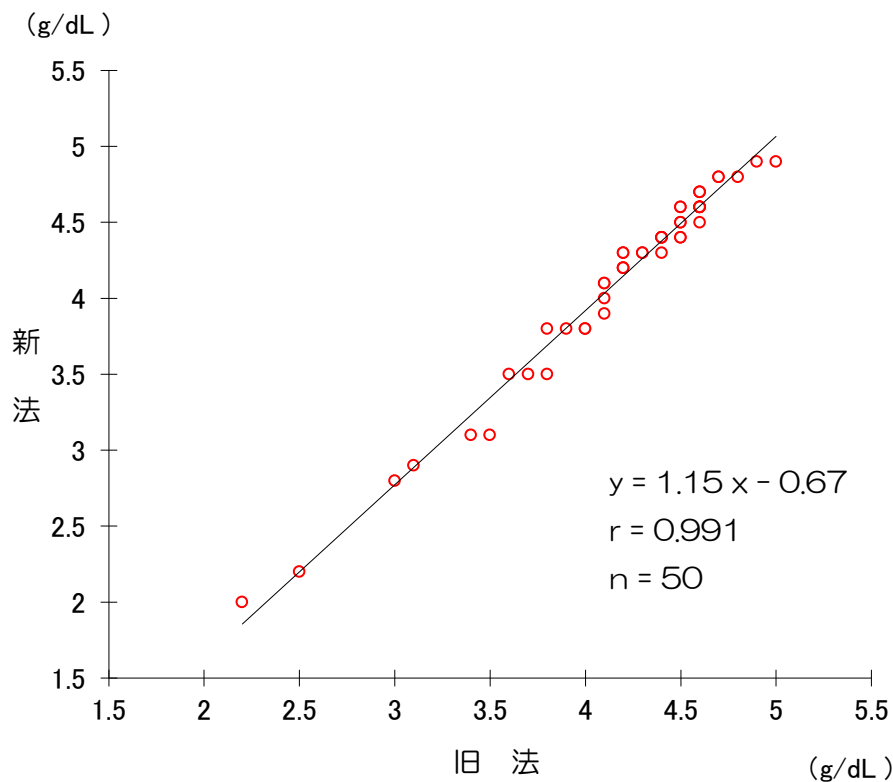
検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目の内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成27年9月24日(木) 受付分より変更

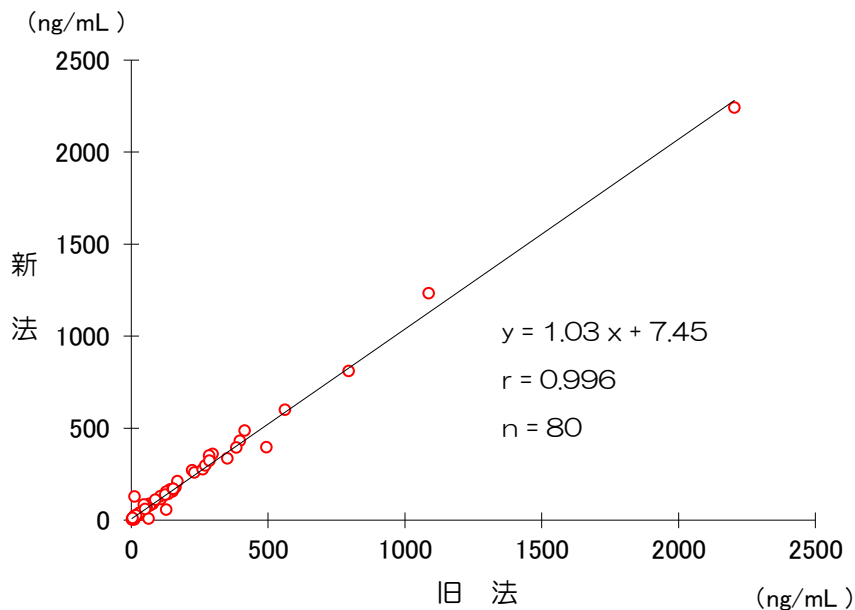
変更項目：1002 アルブミン(ALB)

	(新)	(旧)
検査方法	BCP改良法	BCG法
基準値	3.9~4.9 g/dL	3.9~5.1 g/dL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	11点 生化学的検査(I)判断料 144点	
備考	グロブリン分画と反応しない、アルブミンに対する反応特異性の高い試薬へ変更。 ※注意 ヒトアルブミンに対する特異性は高くなりますが、動物検体については、反応しないため測定不能とさせていただきます。	



変更項目： 1273 フェリチン (FER)

	(新)	(旧)
検査方法	ラテックス凝集免疫比濁法	CLEIA
基準値	M: 50 ~ 200 ng/mL F: 12 ~ 60 ng/mL	M: 10 ~ 200 ng/mL F: 5 ~ 100 ng/mL
所要日数	2日	
実施料 (判断料)	116点 生化学的検査(I)判断料 144点	



変更項目： 4314 梅毒 RPR 定性
4317 梅毒 RPR 定量

	(新)	(旧)
検査項目名	RPR	RPR法
検査方法	ラテックス比濁法	
基準値	定性：(-) 定量：1.0未満 R. U.	
所要日数	2日	3日
実施料 (判断料)	定性：15点 定量：34点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	乳び検体においては、偽陰性となる場合がございますので予め注意願います。	

RPR		旧法		
		-	+	合計
新法	-	78	7	85
	+	2	8	10
	合計	80	15	95

陰性一致率 97.5%
陽性一致率 53.3%
全体一致率 90.5%

変更項目： 4304 梅毒 TP 抗体 定性
 4309 梅毒 TP 抗体 定量

	(新)	(旧)
検査項目名	TP抗体	TPHA法
検査方法	ラテックス比濁法	
基準値	定性：(-) 定量：5.0未満 U/mL	定性：(-) 定量：10.0未満 T. U.
所要日数	2日	3日
実施料 (判断料)	定性：32点 定量：53点 免疫学的検査判断料 144点	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 特異度の高い試薬への変更 判定基準 5.0未満U/mL (-) 5.0~9.9U/mL (+-) 10.0以上U/mL (+) 乳び検体においては、偽陰性となる場合がございますので予め注意願います。 	

TP抗体		旧法			
		-	+-	+	合計
新法	-	71	0	6	77
	+-	1	0	1	2
	+	0	1	17	18
	合計	72	1	24	97

陰性一致率 98.6%
 陽性一致率 70.8%
 全体一致率 90.7%

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
 TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
 E-mail: info@hma-labo.jp